WEB 令和3年度 全国研修会

日本酪農の役割を確認し、持続的な発展に必要なことを考えよう！

参加者募集中！

1. 趣　旨

本会会員牧場に所属する者がWEB上で一堂に会し、最近の酪農・生乳需給を巡る情勢について情報と問題意識の共有を図るとともに、新たな知見の習得や、意見・情報交換を通じた相互研鑽を行う。

本研修を通じて、本会の目的である「日本酪農への支援や理解の獲得」に対する各々の思いを再認識し、交流活動のさらなる充実と深化に資するとともに、得た知見を地域の後継者世代につなぐ。

2. 日　時

令和3年12月16日(木)

(1) 研修会　13時00分～16時00分(受付開始12時00分)

(2) 懇親会　19時30分～21時30分(受付開始19時00分)

3. 手　法

オンライン(ZOOMを使用)

4. 参集範囲

(1) 本会会員牧場に所属する者

(2) 関係団体の役職員、行政関係者、その他酪農家等

5. 定　員

80名(端末数)

6. 参加費

無料

問い合わせ先

地域交流牧場全国連絡会

事務局：(一社)中央酪農会議　担当：竹中、阿南

tel：03-6688-9841 e-mail：koubokuren@churaku.jp

7. 申込方法

WEB上の「申し込みフォーム」よりお申し込みください。

https://forms.gle/pVQf19q5DptWB4Cd9

8. 申込締め切り

令和3年11月30日(火)

※先着順とし、定員に達した場合は、その時点で締め切りといたします。

9. プログラム(予定)　※変更になる場合があります。

時間	時間	内　容
13:00	05分	開会、事務連絡
13:05	05分	挨拶
13:10	20分	(1)最近の酪農と生乳需給を巡る情勢について
13:30	60分	(2)基調講演 農業ジャーナリスト・フリーアナウンサー 小谷あゆみ氏
14:30	10分	休憩
14:40	70分	(3)グループディスカッション
15:50	10分	事務連絡
16:00		研修会　閉会
19:30	120分	(4)オンライン懇親会
21:30		懇親会　閉会

※「研修会のみ」または「懇親会のみ」の参加も可能です。

DF NEWS　DFニュース　2021年11月号

発行日／2021年11月　発行／地域交流牧場全国連絡会　〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2－6－1 堀内ビルディング4階（一社）中央酪農会議内

TEL03－6688－9841　FAX03－6681－5295　ホームページ https://www.dairy-farm.jp/

地域交流牧場全国連絡会
令和3年11月発刊
DAIRY FARM NEWS
11月号
2021

DF NEWS

第101回理事会を開催

新体制にて令和3年度の具体的な取り組みを協議

第101回理事会を開催

日時：令和3年9月22日（水）13:00～
手法：ZOOMによるWEB会議

新体制にて令和3年度の具体的な取り組みを協議

本会では去る9月22日（水）、WEBにて第101回理事会を開催しました。事務局から事業の進捗状況について報告があった後、全国研修会、WEB等を活用した取り組み、防疫ツール及び活動ツールの制作等について協議が行われました。

新型コロナ発生から1年半が経過し、ZOOMによるWEB会議にも慣れ、活発な意見交換となりました。

主催者挨拶

新役員体制になって初めての理事会です。本来であれば皆さんと対面して行いたいところですが、こういうご時世なので残念ながらWEBでの開催となりました。

私の住む千葉県も含め、多くの地域で未だ緊急事態宣言中であり、制約が多い状況ですが、聞こえてくるところによると9月末で緩和される方向のようです。我々が本来やりたいと思っている活動も、徐々にできるようになっていくのかなと期待しています。今は過渡期で難しい時期ですが、皆さんからご意見をいただき、今後の計画を良いものにしていきたいと思います。

事務局から提案いただいた内容を、新三役で協議し、本日、皆さんにご提案いたします。建設的な、忌憚のないご意見をお願いいたします。

会長
加茂 太郎

来賓挨拶

今年の夏は猛暑になるといわれていましたが、ふたを開けてみると全国的に過ごしやすい陽気となりました。皆様のご努力もあり、生乳生産量は、北海道・都府県ともに前年度を上回っています。一方で、需要については、コロナ禍の影響でインバウンド需要、業務用需要が回復せず、牛乳類消費の低迷が続いています。乳製品の在庫が急激な速度で増加しており、すでに需給上かなり危険な状況です。

中央酪農会議においては、指定団体の皆様と需給改善への対応について協議しているところです。業界一体となって、対応しなければいけないと考えているので、皆様にもご協力いただければありがたいと思います。

コロナ前のような活動ができない状況が未だ続いていますが、こういう状況だからこそ、皆さんでアイデアを出し合い、今後につながる活動を検討していただければと思います。

（一社）中央酪農会議
専務理事
迫田 潔氏

協議・決定事項

1 全国研修会の開催について

中央事務局が中心となって、WEBにて全国研修会を開催する。　※詳細は、裏表紙をご確認ください。

2 WEB等を活用した取り組みの実施について

（1）SNSを活用した取り組み

生乳需給の状況等を踏まえ、会員から消費者に対する、SNS等を活用したメッセージ発信の取り組み（12月頃、牛乳を使った「私の好きな冬の牛乳の飲み方」の投稿を予定）を検討・実施する。

（2）会員を対象としたWEB研修会の開催

① 牧場WEB視察研修会

会員牧場（神奈川県・柿澤牧場、富山県・clover farm）のWEB視察・意見交換等を行う研修会を開催する。1～3月頃を予定。

② SNS等を活用した発信に関する研修会

SNSの活用など、WEB時代に対応できるようなミニ研修会を実施する方向で検討を行う。

3 防疫ツール及び活動ツールの制作について

（1）防疫ツール

① 防疫喚起ツールのデータ制作・提供

令和2年度に制作した多言語による「立入禁止ポスター」及び「手洗い喚起ポスター」の「アラビア語」版のデータを制作・提供する。

②「交流活動における感染症防疫マニュアル」の改訂・配布

平成20年度に作成した上記マニュアルを改訂し、配布する。内容については、安全・衛生・防疫対策の専門家（酪農教育ファーム各種研修会の講師を想定）と連携し、検討する。

③ 防疫関連ツールの制作・配布

令和3年度は実施しない。

（2）活動ツールの共同購入

令和3年度は実施しない。

令和3年度震災復興支援事業「もーもースクールin 仙台」

東日本大震災復興支援「もーもースクールin 仙台」を開催

令和3年11月15日（月）、宮城県仙台市立幸町南小学校の2・3年生を対象に、復興支援もーもースクールを開催しました。昨年度はコロナ禍により実施ができず、2年ぶりとなりました。

今回は、全国からのスタッフの参集は行わず、東北ブロックの会員が中心となり、宮城県立加美農業高校の生徒ら約20名も参加して実施。搾乳体験や子牛のお散歩、バターづくり体験などを行いました。各ブロックからは、全校生徒を対象に、アイスクリームの提供を行いました！